

自然科学研究機構国立天文台で雇用する特別研究員-PD等の育成方針

自然科学研究機構国立天文台で雇用する特別研究員-PD等（以下「PD等」という。）の育成にあたっては、多様な経験機会を付与しつつ実践的な研究指導を行うなど、国立天文台が有する研究環境を活かした人材育成を行う。また、研究者としてのキャリアパス形成を支援し、国際的に卓越した若手研究者を育成するため、以下の取組を行う。

（研究環境に関する取組）

- 我が国の天文学の中核を担う研究機関として、すばる望遠鏡やアルマ望遠鏡などの世界最高性能の大型望遠鏡やアンテナなどの観測装置、大規模な天文観測データを保有する強みを生かし、世界最先端の研究環境を提供する。
- PD等が所属する研究室を主宰する研究者は、PD等の研究活動の充実が図られるよう、その研究状況を適宜把握し、進捗状況や成果に応じて、適切な指導・支援や評価等を行う。
- 世界的に活躍する若手研究者を育成するため、国立天文台が国内外の研究機関との連携により推進している様々な国際共同研究プロジェクトへPD等を参加させ、海外研究者との交流の機会を提供する。

（キャリア支援に関する取組）

- 男女共同参画推進の一環として、PD等の出産や育児に伴い研究に専念することが困難な場合は受入期間を中断し、休業等を取得した期間については雇用期間を延長するなどの支援を行う。
- 研究者としてのキャリアに必要となる能力開発を習得させるため、自然科学研究機構が実施する各種研修（研究倫理教育、研究費の不正使用防止、安全保障輸出管理、情報セキュリティ等）の受講機会を提供する。

以上